

快速艇

No.124 2019 令和元年7月17日



令和元年6月6日(木) 体育大会／選手宣誓



ごあいさつ

PTA会長 近谷 亨

私自身この伏木高校のPTAに携わって今年で五年目に入り、今年度会長という任務に就きました。昨年まではサポート的な立場で活動してきましたが、いざ会長となると責任を重く感じております。

伏木高校の特色といえば、国際交流という事で毎年他国の生徒との交流を図る為のホームステイが一番に取り上げられ、他校ではなかなか体験する事ができません。又、他の活動としては職業人講話、学校周辺の清掃活動、文化祭への出店などがあり、生徒と保護者ならびに先生方との繋がりを大事にしています。

五月に入り新しい元号『令和』が始まりました。この記念すべき年が生徒達と皆様方の思い出に残るような一年にしたいと考えております。PTA会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。



国際交流科とふるさと教育

校長 南 修朗

令和元年五月六日(月・振休)に開催された、改元記念「県民ふるさとの日」記念式典において、本校が「県民ふるさと大賞」を受賞いたしました。これは、

一年生全員が伏木地区の企業や勝興寺、万葉歴史館などの文化施設を訪問し、地域の文化・歴史に対する理解を深めていること。「伏木港祭りの、町流し」「万葉集全二十巻朗唱の会」など、地域の行事に積極的に参加していること。授業において、学校設定科目として「郷土文学」を設定し、「越中万葉」の他、「義経記」「奥の細道」など、郷土にゆかりのある文学を学び、平成二十七年には補助教材「伏木の文学」を作成し、市内の中学校に配布していることなどが評価されたものです。

それではなぜ、国際交流科単独校で、全生徒がパスポートを取得し海外語学研修に行く本校が、このような「ふるさと教育」を重んじているのでしょうか。

中国の兵法書「孫子」に「彼を知り己を知れば百戦殆からず(カレヲシリオノレヲシレバヒヤクセンアヤウカラズ)」とあるように、国際交流において、相手国の文化を深く理解するためには、相手国の実情を詳しく知ることが必要なのは当然のことですが、何より重要なことは、まず自分たちが生まれ育った地域の考え方や慣習、価値観などを理解することです。自分の生い立ちや、ふるさとの文化とその背景を客観的に理解することで、相手国の文化との比較ができ、相手国を深く理解する手がかりになるからです。

そしてもう一つ、文化をよりよく理解するために大切なことは、「本物に触れる」ことです。実際に体験することで、具体的な感覚が生じます。本物を目にしたことにより、一生忘れることのできない、独特な感覚が残ることになるのです。

保護者の方々には、多大なご負担をお掛けいたしますが、本校の「ふるさと教育」と「海外語学研修」の重要性をご理解いただき、ふるさと富山に誇りと愛着を持ち、地域社会や全国、世界で活躍し、未来を切り開く人材の育成にご協力いただきますようお願いいたします。

Our New Stage

私たちの
新たな
段階へ

第72回 体育大会

令和元年6月6日(木)

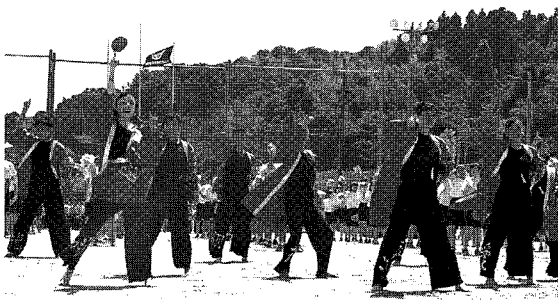
● 体育大会結果

総合	1位 黄団	2位 紫団
競技	1位 黄団	2位 紫団
応援	1位 紫団	2位 黄団
デコレーション	1位 黄団	2位 赤団

【火樹銀華(赤) 団長】

31H 廣上 海斗

私は、高校最後の体育大会で団長を務めました。正直、皆を上手にまとめることができるか、団で楽しく盛り上がるか、不安でいっぱいでした。しかし、団員の協力と助けがあり、無事体育大会を終えることができました。残念ながら、賞は貰うことができません。



火樹銀華団(赤)

一つ目は、日常生活の態度です。紫団の団長になって、まず団をまとめるために自分自身が団員の模範となるような態度で行動しなければならぬと感じました。日常生活から常に見られているという意識を持ちながら、チャイム前に着席することや掃除など当たり前のことを当たり前にやろうと取り組みました。短期間で意識を向上させ、自分を磨くことができる貴重な行事だと思いました。

二つ目は、責任を全うすることです。団長になり、不安と心配ばかりしていました。しかし、副団長をはじめとする団リーダーに力を借り何とか自分の役割を果たすことができたのではないかと感じ

ませんでしたが、心の底から競技や応援を全力で楽しむことができたのではないかと思います。最高の体育大会にしてくれた団員皆にとっても感謝しています。このメンバーと一緒に取り組めたこととても嬉しいです。

この経験から、仲間と協力する大切さが改めて分かりました。これからこの良い経験を活かしていきたいと思います。

【紫瀾洵湧(紫) 団長】

32H 飛弾 潤乃

体育大会を終えて、私は色々なことを改めて学びました。

もちろん、うまくいくことばかりではありませんでしたが、困難から逃げることなく自分なりに考え行動できたことが今後に繋がると確信しています。

結果は、総合二位で優勝を獲ることができませんでしたが、非常に学びの多い体育大会になりました。



紫瀾洵湧団(紫)

【鳳雷颯迅(黄) 団長】

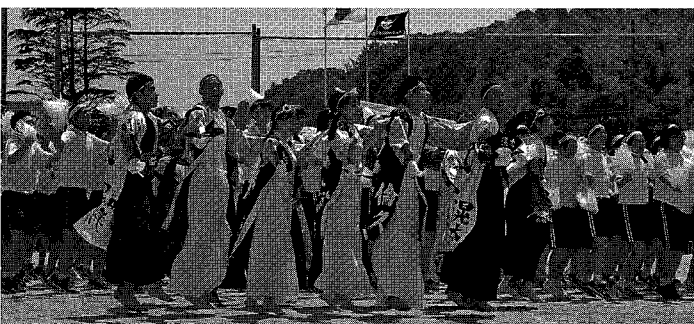
33H 押川 倫久

体育大会を終えて二つ心に残ったことがあります。

一つ目は選手宣誓です。伏木高校の代表としてしっかりと宣誓できるかどうか不安でしたが、担任の先生をはじめ、たくさんの先生方からアドバイスを頂きオリジナリティを出した宣誓ができました。

二つ目は、リーダーシップを発揮することの大変さです。団員を引っ張っていきけるかとても不安でしたが、副団長や団リーダーが積極的に応援やデコレーションを手伝ってくれたおかげで、円滑に活動できました。たくさんの失敗もありましたが、改善策を考えることで次の活動に活かすことができ、とても良い経験になりました。

この体育大会だけのために、PTAの方々、かたかご幼稚園をはじめとする地域の方々、先生方が私たちのために動いてくださり感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を今後の学校生活や人生の糧にしていこうと思いました。



鳳雷颯迅団(黄)



3学年種目 タイヤ奪い



2学年種目 ムカデリレ



1学年種目 大縄跳び

オリエンテーション合宿を通して

●平成31年4月18日(木)・19日(金)

13H 前田 一乃

私はオリエンテーション合宿を通して学んだことが三つあります。一つ目は、教科学習についてです。中学校に比べ難しく、授業進度が速くなります。また、小テストがあり、予習・復習がとても重要になります。それに加えて部活動もあり、両立が大変であると思いました。二つ目は、コミュニケーションです。この合宿では、クラスや班で行動することがほとんどでした。野外炊飯やグループエンカウンターなどで、話したことがない多くの人と接することができました。今後は、クラスで活動する機会が増えると思うので、仲を深めたいです。三つ目は、進路についてです。中学校に入学した頃は何も考えていませんでしたが、高校では一年生の頃から進路を意識しないとイケないと感じ、不安になりました。先生や家族と話し合いながら自分の進路をはっきりさせたいです。

一学年主任 角谷 昭美

入学早々四月十八日(木)、十九日(金)の二日間、一学年のオリエンテーション合宿が二上まなび交流館で行われました。二泊三日の合宿では、各分掌の先生方の講話で学校を知ることから始まり、高校での学習法の紹介や、また、外部講師を招き「制服の着こなし」、「交通安全」、「電子辞書の使い方」と内容も多岐に渡りました。

中でも、生徒たちの生き生きとした顔を見られたのは課外活動で、

「大縄跳び」、「エンカウンター」などの活動では、自然と友達作りの輪が広まり、二日目の「野外炊飯」では各グループで協力し、美味しいカレーを囲み、楽しい時間を過ごすことができました。

伏木高校での新しい人間関係がスタートし、これから充実した学校生活を過ごせるよう、学校とご家庭が連携し、サポートできればと思います。よろしくお願いいたします。



ロシア語学研修

31H 布村 理乃

私は、三月十五日から二十二日の七日間、ロシア・ウラジオオストク市に語学研修に行ってきました。何もかもが初めての体験で、期待と不安でいっぱいでした。ですが、現地に到着すると、どの家庭のホストファミリーも明るく迎え入れて下さいました。言葉の壁や文化の違いを目の当たりにして苦戦する場面があつても、家族のように優しく、楽しく接して下さり大変心強かったです。

また、現地の有名な観光名所やサーカスなどロシアでしか見ることができない場所に連れて行ってもらつたり、ロシア料理であるボルシチやピロシキなど食文化にも



触れたりすることができました。語学研修へ行く前は、行きたくない思いが強かったのですが、現地の方の温かさに最後は名残惜しい気持ちでした。それほど楽しく充実した研修となり、貴重な体験ができました。

アメリカ語学研修

33H 小松 真

私はアメリカ語学研修に参加してたくさんのお話を学びました。その一つはコミュニケーションの重要性についてです。私はアメリカに行つた当初は自分の英語に自信がなく話すことに躊躇していました。しかし、現地の人が積極的に話しかけてくださったおかげで躊躇する気持ちが消えて私も沢山話することができました。これからはアメリカ人のコミュニケーションに対する積極性を見習って様々な人と沢山コミュニケーションをとりたいと思います。コミュニケーションをとることで相手と打ち解けあう

触れたりすることができました。語学研修へ行く前は、行きたくない思いが強かったのですが、現地の方の温かさに最後は名残惜しい気持ちでした。それほど楽しく充実した研修となり、貴重な体験ができました。



ことができると思います。アメリカ人には日本人が見習うべき点が沢山ありました。また、アメリカに行き私はたくさんのお話を学びました。私はそのアメリカに行つて体験し、学んだことを今後に活かしたいと思えます。また、アメリカに行けたのは様々な人の助けがあったおかげだと思えます。私はその感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

氣多神社清掃奉仕活動

四月十三日(土)、越中国一宮氣多神社の清掃奉仕活動が行われました。サッカー部、野球部、ジョクトレ高岡(サッカークラブ)の中学生を中心に地元の方々と一緒に活動しました。

氣多神社の敷地内を約一時間かけて落ち葉やゴミを拾い、生徒たちも大変意欲的に活動に取り組んでいました。



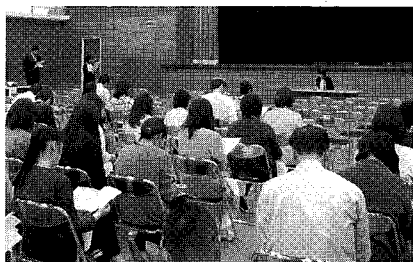
教育懇談会

保健厚生担当副会長 山田 康代

五月十一日に「令和元年度教育懇談会」が本校第一体育館において開催されました。

初めにPTA・教育振興会・育成会の定期総会が行われ、平成三十年度の事業報告・会計決算報告・PTA役員改選・令和元年度の事業計画等の報告がありました。

次に全体研修会が行われ、生徒達による海外語学研修報告とホームステイ受け入れ家庭による体験報告がありました。生徒たちは、中国・韓国・ロシア・アメリカで体験してきた事を写真を使ったり、訪問国の言葉を使うなど、それぞれ工夫した内容の報告をしていました。ホームステイ受け入れ家庭の報告では、受け入れ前の不安や、一緒に過ごしているときの様子など、とても良い経験になったと報告されていました。また話を聞いて



て熱心にメモをとる保護者の方もいらつしました。

その後、学年別研修会、クラス別懇談会が行われ、学校での様子、進学、就職に関する情報を知る事が出来、大変有意義な懇談会となりました。

PTA委員会

総務委員会の紹介

委員長 畑山 弘美

総務委員会では、PTA会報「クリッパー」を年二回七月と三月に発行しています。発行にあたり、各学年代表の総務委員と先生方を交えて編集会議を行います。先生方と協力しながら、学校の行事内容やPTA活動をより多くの保護者の方々に分かりやすく伝える紙面を作り上げたいと、努力しています。そして、色々なPTA活動をご理解して頂き、参加してみようかなと、思っ頂けたら幸いです。今後とも皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

進路指導委員会の活動

委員長 寺林 洋

進路指導委員会の大きな活動のひとつに、職業人講話があります。講師には、卒業生や保護者の方、学校関係者など様々な職業、立場の方をお招きし就職のきっかけ、仕事の内容、やりがいや苦労話などの実体験、また進学の為には何をすべきか、成功談・失敗談な

ど貴重なお話が聞けると思っています。七月に開催しますので保護者の方にも、生徒と共に今後の進路選択のため、情報収集の場として、是非参加して頂きたいと思っております。

保健厚生委員会の紹介

委員長 飛田 真紀子

保健厚生委員会では、生徒保健委員会が取り組んでいる環境美化活動に、昨年から引き続き今年度も力を入れていきたいと思っております。

委員会の活動といたしまして、学校保健委員会の実施と、九月に行われる伏木十間道路クリーン作戦の参加を予定しています。

ぜひ、保護者の皆さまのたくさんの参加をお願いいたしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

生活指導委員会の紹介

委員長 野島 真

生活指導委員会では、伏木曳山

祭りの巡回指導とさわやか運動を行いました。

曳山祭りは町中で行われるため、土地勘がない私にとって気の引き締まる思いでしたが生徒たちが安全に楽しく祭りを楽しめたようので何よりです。

また六月のさわやか運動では生徒たちの登下校路でのあいさつ指導、交通安全指導を行いました。この積み重ねが大切なのだと思

徒・保護者ともに心がけ今年度も活動を取り組んでいきたいと思

国際交流委員会の紹介

委員長 二口 大輔

国際交流委員会の活動は、友好校からのホームステイ受け入れの推進や七月に開催している友好校の学生を迎えるの歓迎パーティーの開催が主な活動となります。

私が高校生であった頃は海外の人達と接し、異文化を学ぶ機会がほぼ無かったと記憶しております。

しかし本校の生徒は国際交流科の元で海外の人達と触れ合い異文化を学ぶ事が出来ます。他国の生徒同士が交流を深めるとい

7/17(水)・18(木)	保護者会
19(金)	1学期終業式
20(土)	中国大連市第十二中学校 韓国水原市清明高校来校
27(土)	職業人講話
8/3(日)	伏木港まつり
12(月)	吹奏楽部定期演奏会
9/2(月)	2学期始業式
24(火)	ロシアウラジオストク市 友好訪問団来校
27(金)	文化祭
10/2(水)	高教研大会
12/20(金)	23(月) 保護者会
24(火)	2学期終業式
1/8(水)	3学期始業式
3/2(月)	卒業式
24(火)	3学期終業式

行事予定

あとがき

令和最初の新生を迎え早三ヶ月が経ち新しい生活に慣れてきた頃でしょう。
総務委員会では、PTA会報誌「クリッパー」を七月と三月の年二回発行しています。
「クリッパー」では、伏木高校の一番の特色でもある国際交流活動や学校行事等を紹介していきたいと思っております。
PTA役員一同、伏木高校を盛り上げて行きたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

(総務委員会一同)



富山第一戦 2019.5.26